

日時：H26.9.18 PM7:00～8:35 於小出市庁舎302

## 1. 議 題

- 1-1. 9/10開催 運営委員会報告
- 1-2. 今後の地域産業振興部会の進め方に付いて
- 1-3. その他

## 2. 主たる意見

### 2-1. 運営委員会での検討結果を三友副部長から説明 ---- 主たる内容

- ① 去年は運営委員会の開催が乏しくまちづくり委員会の全体の動き、各部会の動きが見えない状態。
- ② どの部会との出席者が少なく5～6名、それも殆どの場合、出席者が固定しており部会運営に事欠く現状。
- ③ 少ない出席者も部会を合わせれば20名以上となり、活性化できるのではないか、また、他の部会の様子も見えることから、今年度はまちづくり委員会全体会議を年2～3回実施することが採択された。
- ④ 全体会議に重点が置かれると、4部会毎の検討が少なくなり、会議の度毎にテーマ・検討内容が変り過ぎ何をしているか分からなくなることも懸念される。
- ⑤ 全体会議開催に当って、最初の時間帯は全体会議で情報交換、その後部会に分かれて会合する提案あり。

※ 全体会議をしないと、まちづくり委員会の全体の動きが見えてこない！ ことは、まちづくり委員会の中・長期ビジョンがないことが最大の原因ではないだろうか！

まちづくり委員会は何のために「魚沼市まちづくり基本条例」まで制定してできたのか、原点に立ち返って、長期ビジョンを描くことが急務ではなからうか！

箱モノは作ってやるが、運営は地元民が考えてやりなさい！ 目的・目標の実現に向けて箱モノである筈が、一時の政争の道具化で、無用の長物化となるケースに似ている。

- ⑤ 全体会議は組み込んだ「まちづくり委員会」開催日は 10月7日に決定済み。 会場等は後日連絡。

### 2-2. 今後の地域産業委員会の進め方に付いて（出席者全員で討議） ---- 主たる内容

- ① 第二次魚沼市基本計画策定の年に当る今年度は、地域産業振興部会の進め方に、2面性があることを理解する必要がある。

1) 総合計画策定に当って、まちづくり委員会のメンバーは、ファシリテーターとして協力することが義務付けられ、公式に意見を述べる機会を失っている。 既存の第一次魚沼市基本方針では、お金をどの様に使うかが優先し、地域経済を刺激、活性化を中心に、健全な自主財源を確保する基本的手段を基本構想・基本計画の中に盛り込むことが薄れていたと言える。 これと同じ状態がこれから10年間の第二次総合計画に落ち着くとしたら、総務省発表ガイドラインの2040年までに800余の地方自治体が破綻する危険性がある？ と言われているが、魚沼市が間違いなくその仲間入りをするであろうと考えられる。

その最悪の現象を回避するためには、本来なら、行政・市議会が察知し、基本構想・基本計画案を市民に開示し、民意でその可否を問うことがベターと考えるが、行政がその様な手段を講じず、無作為で選出した125名の民意を最重要意見と吸上げる方法では、権利の主張が優先し、義務を果たすべく健全な財源確保の基本構想・基本計画が薄れたものになることが十分に予想される。

その時は、行政・市議会に対し、健全な財源確保のための、基本構想・基本計画のあるべき姿をまちづくり委員会・地域産業振興部会から、まちづくり市民会議・総合計画審議会・市議会・総合計画特別委員会に提言することが必要と考える。アプローチを必要がある！

どの時点でどの様な内容で提案するかを原案を、次の地域産業振興部会までに部会長が責任持って作成する、みんなでその可否を検討して頂きたい。

2) 2面性の一方は、地域産業振興策として、市民が楽しく積極的に参加でき、参加者が結果を実感できる取組みをする。 部会員募集での取組みアイテム例で記す様に、部会本来の方向性である！

- ② これから10年先のことを話し合っても、不確定なことばかりで、何をしたら良いか分からない！ そんなことを論じて興味も湧かない！ 我々は、出来ることをする範囲で良いと思う。

- ③ 勿論難しい論議をし続けることは考えていない。先に述べた様に、今回は第二次魚沼市総合計画策定の年に当り、行政が気付いていないことに対し、魚沼市の将来を見据え、あろうべき姿の提言をする！

以降は、市民の誰もが積極的に参加できる取組みに移行して行く。

- ④ 身近に感じる会合でないと興味が無くなり、止めてしまう！ のでは？
- ⑤ 地域産業振興部会として、論議だけをするだけでなく、市内に点在する企業等の見学をし、市民目線で販売促進（拡大）のお手伝いができることもあるのではないか！ 実施を考えて見たら！  
興味あるあるものとして、雪室・JA低温貯蔵庫等がある。
- ⑥ 企業誘致の「水の郷工業団地」を見学ツアーを計画し、企業誘致に関して、意見を述べることもできるのでは！ ---- ④案と合わせ別途計画する。

### 2-3. その他 ---- 主たる内容

- ① 9/10 の市報に添付の「まちづくり委員会 部会員募集」での効果は 9/18 までに4部会共に応募者0”
- ② 9/17 のある会合の席で、9/10 の折込みで「まちづくり委員会 部会員募集」を見て賣いましたか？  
と、6名の人達に聞きましたが、見た人0” でした。---- 6名の方は魚沼市ではそれなりの人！  
この現実から、市民に伝えることは大変なことと感じたが、何事も諦めて輪ならない！ 次に打つ手は何か！ 各町内にお願ひし「回覧板」作戦をして見よう！ となった。
- ③ 「看板」作戦は地域産業振興部会だけの動きではできないことから、まちづくり委員会から行政へのお願いとなることから、平井会長の承認が必要となった。---- 部会長の預りに対応する。
- ④ 魚沼市に「人口問題対策本部」が発足した。--- 人口減少問題が予想を超え、急激に進んだ！